

大黒食品工業株式会社

プロ人材を活用した業務マニュアル化

属人化からの脱却及び社員成長に伴う生産性向上



相談までの経緯

■当社について

昭和 34年創業、昭和 36 年に法人設立。カップ麺・袋麺等を製造。「大黒」「マイフレンド」「AKAGI」というブランドで販売展開している。

■相談のきっかけ

当社は、各部署で個人の専門能力を長年にわたり深化させ、それを企業の強みとしてきた。一方で、近年それは属人化という「弱み」ともなり、教育の多くは前任者からの「口語り&見て覚える」、マニュアルは形骸化していた。そうした中、社員の高齢化に伴い工場内の品質管理や機械営繕を任せられる人材を探していたところ、プロフェッショナル人材戦略拠点の存在を知り、課題解決に向けた相談をすることにした。

活用内容

■課題の整理

当初、上述のように品質管理等を担当する人材の採用を考えていたが、ヒアリングを重ねる中で、属人化による問題点、これまで幾度もマニュアル化を試みていた現状が明らかとなった。プロフェッショナル人材戦略拠点ではマニュアル作成こそが最優先課題であると認識し、マニュアル作成に特化した外部人材(副業)に依頼することを提案した。

■外部人材(副業)の採用

「機械設定組替作業を誰もが行えるようにマニュアル化し、従業員に技術指導ができる人材」について、登録人材会社に対して紹介を依頼。程なくして大手メーカーで電子機器や電子部品の技術サポートに従事している A 氏が紹介された。A 氏には、オンラインでの業務従事に加え、月 1 回程度の来社でまずはマニュアル作成に取り組んでもらうこととなった。

■マニュアルの作成

A 氏と現場従業員との協力により、工場内の機械設定組替作業のマニュアルが完成した。そうした成果物だけでなく、A 氏とのやり取りの中で従業員自身の気づきや感化されることもあり、積極的な取組に変わっていった。

支援先企業からのコメント

マニュアル作成過程におけるすり合わせで、作業者本人がより良い作業方法や改善点に気づかされることもあり、この「気づき」が最大のメリットでした。各部署で自主的なマニュアル作成が始まるなど、会社全体にも良い影響が及んでいきます。

A 氏を紹介され、当社が新たな成長をしていることが実感でき大変感謝しております。A 氏とは、現在も契約延長中です。

(代表取締役社長 竹村 修)

住所	群馬県佐波郡玉村町藤川 128 番地
事業内容	即席カップめん、即席袋めん製造
従業員数	100名
代表者	代表取締役社長 竹村 修
URL	http://www.daikokufoods.com/

